

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	数学 I A
科目基礎情報					
科目番号	0016		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	土木建築工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	教科書:「基礎数学」(大日本図書) 問題集:「基礎数学問題集」(大日本図書) 補助教材:高専数学へのアプローチ(東京書籍) 参考書: Serge Lang 「Basic Mathematics」(Springer)				
担当教員	浅野 真誠				
到達目標					
工学を学んでいくために、最も基本的でかつ重要な関数の性質についての知識を身に付ける。と同時に論理的な考え方、およびその数学的な表現の基本をマスターすること。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	様々な関数のグラフを適切に理解し、これを方程式や不等式などの問題解決に利用できる。		基本的な関数のグラフを適切に理解し、これを方程式や不等式などの問題解決に利用できる。		基本的な関数のグラフを適切に理解できない。
評価項目2	指数関数・対数関数の定義を適切に理解し、グラフなどの特徴を捉え、これらの知識を様々な問題解決のために利用できる。		指数関数・対数関数の定義を適切に理解し、グラフなどの特徴を捉えている。		指数関数・対数関数についての定義が理解できない。
評価項目3	三角関数についての定義・公式・定理を十分に理解し、様々な問題解決のために利用できる。		三角関数についての多くの定義・公式・定理を理解している。		三角関数についての多くの定義・公式・定理を理解していない。
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 A 1					
教育方法等					
概要	高専1年の課程の「数学」の学習内容は、中学校での内容を受けて、その自然な発展として数学的な考え方、その方法および計算技能などが確実に身につくようなものでなければならない。数学IAでは、最も基本的でかつ重要な関数の性質について学ぶ。				
授業の進め方・方法	【授業計画】は前期、後期ともに1週3時間を1回として示している。				
注意点	【授業の進め方】 授業・定期テスト以外に、レポート(宿題)提出を課す。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	2次関数のグラフ 1	中学校で学んだ2次関数を発展させ、 x の二乗の係数 a が正負の場合のグラフについて学ぶ。	
		2週	2次関数のグラフ 2	2次関数の標準形、一般形のグラフの頂点、軸などの特徴を学ぶ。そして、最小値問題への利用について習熟する。	
		3週	2次関数と2次方程式	2次関数のグラフと2次方程式の関係について学ぶ。	
		4週	2次関数と2次不等式	2次関数のグラフと2次不等式の関係について学ぶ。	
		5週	べき関数	基本的なべき関数のグラフについて学ぶ。	
		6週	分数関数	基本的な分数関数とその標準形のグラフの特徴について学ぶ。	
		7週	問題演習	教科書の問題を担当を割り当てて板書などで演習を行う。	
		8週	中間試験	上記の範囲で試験を行う(80分)	
	2ndQ	9週	中間試験の答案返却 無理関数	中間テストの確認と、基本的な無理関数とその標準形のグラフの特徴について学ぶ。	
		10週	分数不等式,無理不等式	分数関数のグラフ、無理関数のグラフを利用して不等式をとく方法を学ぶ。	
		11週	累乗根	平方根、立方根からはじめて、 n 乗根(n は自然数)の性質について学ぶ。	
		12週	指数の拡張	a 乗根(a は有理数および無理数)の性質について学ぶ。	
		13週	指数関数	指数関数の性質およびそのグラフの特徴について学ぶ。	
		14週	問題演習	教科書の問題を割り当てて板書などで演習を行う。	
		15週	期末試験	中間試験以後学習した範囲で試験を行う(80分)	
		16週	答案返却など	答案を返却し、説明を行う	
後期	3rdQ	1週	対数	対数の定義とその性質について学ぶ。	
		2週	対数関数	指数関数の逆関数としての対数関数の性質について学ぶ。	
		3週	常用対数	底が10である対数関数の性質とその応用について学ぶ。	
		4週	三角比	三角比の定義、その基本的な性質を学ぶ。	
		5週	三角関数	一般角の概念を学び、三角関数を導入する。	
		6週	三角形への応用	正弦定理、余弦定理の意味と面積の公式、その応用について学ぶ。	

